

食品ロスを減らそう！



10月は「食品ロス削減月間」 10月30日は「食品ロス削減の日」



日本では、本来食べられるのに捨ててしまう食品＝食品ロスが、年間461万トン（令和6年度推計）発生しています。日本人の1人当たりの食品ロス量は、1年で約37kgになります。

飢餓や栄養不足に苦しんでいる国や人々がたくさんいます。日本でも9人に1人の子どもが十分に食べることができていないなど、食の支援を必要としている状況にあります。

また、貧困だけではなく、大量の食品ロスはごみ処理等環境問題にも影響します。

食品ロスの半分は家庭から発生しています。食べるものを大切に、無駄なく消費しましょう。



“食品ロス削減”のために、あなたにもできること

買い物で

- ・必要な分だけ購入する
- ・すぐに食べるような商品は、手前のもの（賞味期限の近いもの）から購入する

調理で

- ・食べられる分だけ作る
- ・食材にあった保存方法で、長持ちさせる工夫を行う

外食で

- ・食べきれる量を注文する
- ・苦手な食べ物が入っていないかを事前にチェックする
- ・「30・10運動」を心がける

※会食などで、最初の30分と最後の10分は料理を楽しんで食べ残しを減らそうという運動

【担当・お問い合わせ先】福祉課／TEL 75-4101